

「東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会」開催要領

【開催趣旨】

3.11 東北地方太平洋沖地震は、震度6強から7の激しい揺れが3分以上続いた我が国観測史上最大規模マグニチュード9.0の超巨大地震だった。さらに4月7日に発生したマグニチュード7.1、震度6強の最大余震を含めこれらの震災により多くの建物が甚大な被害を被った。

中でも沿岸地域の津波による被害は広大かつ深刻でありにも衝撃的だったことから報道等もそれに集中し、地震動による建築物の被害状況についてはあまり知られていないが、その実態は、大規模建築物から戸建て住宅まで全ての建物に及び、被害内容も構造躯体から非構造部材や設備に至るまで広範囲にわたっている。さらに、建物に被害を及ぼす宅地の崩壊や地盤の液状化なども深刻だった。

この度の地震による建築被害の実態を詳しく把握するとともに課題を明らかにし、それを教訓に次なる大地震への備えとするため、東北地方太平洋沖地震による建築被害の報告会を開催する。

【報告会の概要】

主 催： 宮城県建築物等地震対策推進協議会（※）

共 催： 社団法人日本建築学会東北支部

後 援： 国土交通省東北地方整備局

開催日時： 3月22日（木）午後1時30分から4時30分まで（入場は午後12時30分から）

場 所： 宮城県庁 2階「講堂」（仙台市青葉区本町3-8-1）

入 場 料： 無料

対 象 者： 一般県民、市町村、県、国、建築物所有者団体、建築業界、不動産業界、
建築関係教育機関、報道機関

【申し込み等】

問合せ先： 宮城県 土木部 建築安全推進室 TEL022-211-3281

申し込み： 3月16日（金）までに、次のいずれかで参加者の**所属及び氏名**を上記問合せ先へ連絡する。
ただし、下記団体に所属しない一般県民の参加の申し込みは不要とする。

電 話（番 号） 022-211-3281

FAX（番 号） 022-211-3191

メール（メールアドレス） kenan@pref.miyagi.jp

葉書き（あて名） 〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1

※ 東北工業大学工学部(教授)、東北大学大学院工学研究科(教授)、仙台ビルディング協会、宮城県私立中学高等学校連合会、宮城県専修学校各種学校連合会、日本チェーンストア協会東北支部、宮城県商工会議所連合会、日本観光旅行連盟南東北支部、宮城県病院協会、宮城県建築士会、宮城県建築士事務所協会、日本建築家協会東北支部宮城地域会、日本建築構造技術者協会東北支部、日本建築積算協会東北支部、空調和・衛生工学会東北支部、建築設備技術者協会東北支部、宮城県建設業協会、宮城県優良住宅協会、宮城県建設職組合連合会、東日本構造物調査診断協会、全国宅地擁壁技術協会東北支部、日本技術士会東北支部、電気設備学会東北支部、宮城県建築住宅センター、住宅金融支援機構東北支店、県内各市町村及び宮城県を会員に県内の建築物等の総合的な地震対策を推進するために設立された組織。

東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会

— M9.0巨大地震からの教訓 —

〔趣旨〕

3.11東北地方太平洋沖地震は、震度6強から7の激しい揺れが3分以上続いた我が国観測史上最大規模マグニチュード9.0の超巨大地震でした。さらに4月7日に発生したマグニチュード7.1、震度6強の最大余震を含めこれらの震災により多くの建物が甚大な被害を被りました。

中でも沿岸地域の津波による被害は広大かつ深刻でありにも衝撃的だったことから報道等もそれに集中し、地震動による建築物の被害状況についてはあまり知られておりませんが、その実態は、大規模建築物から戸建て住宅まで全ての建物に及び、被害内容も構造躯体から非構造部材や設備に至るまで広範囲にわたっております。さらに、建物に被害を及ぼす宅地の崩壊や地盤の液状化なども深刻でした。

この度の地震による建築被害の実態を詳しく把握するとともに課題を明らかにし、それを教訓に次なる大地震への備えとするため、東北地方太平洋沖地震による建築被害の報告会を開催いたします。

〔主催等〕

主催：宮城県建築物等地震対策推進協議会 共催：社団法人日本建築学会東北支部
後援：国土交通省東北地方整備局

〔日時〕平成24年 3月22日（木）13：30～16：30

〔場所〕宮城県庁 2階「講堂」

〔対象者(参集呼びかけ先)〕

一般県民、市町村、県、国、建築業界、不動産業界、建築物所有者団体、建築関係教育機関、報道機関

〔次第〕

- | | | |
|---------------------------|--|-------------|
| 1 開会(司会) | | 13:30～13:31 |
| 2 主催者・共催者挨拶(田中会長・支部長) | | 13:31～13:40 |
| 3 調査報告 | (敬称略) | 13:40～15:00 |
| (1)-1 建築物の被害(構造躯体、非構造部材等) | 薛 松濤 (東北工業大学教授) | |
| -2 建築物の被害(悉皆調査結果) | 柴山 明寛 (東北大災害制御研究センター助教) | |
| (2) 建築設備の被害 | 渡邊 浩文 (東北工業大学教授) | |
| (3) 宅地・地盤の被害 | 三辻 和弥 (山形大学准教授) | |
| | 《 休憩 15分 》 | 15:00～15:15 |
| 4 事例報告 | | 15:15～15:45 |
| (1) 耐震改修後の木造戸建て住宅 | 遠藤 陽子 (遠藤陽子設計事務所主宰) | |
| (2) 耐震改修後の鉄筋コンクリート造事務所 | 堀田 幸喜 (美里町建設課建築係長) | |
| 5 総括報告(質疑含む) | | 15:45～16:30 |
| | 「震災を教訓とした地震対策について」源栄 正人 (東北大学災害制御研究センター教授) | |
| 6 閉会 | | |